



はじめに

●ご使用前に必ず本取扱説明書と別紙「バッテリーの取扱について」を最後までよく読んで、いつでも見られるように大切に保管してください。

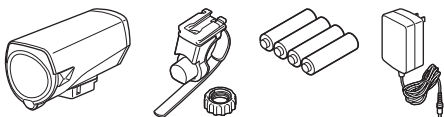
安全にご使用いただくために

- 走行前にはライト本体がブラケットに確実に装着され、点灯すること、荷物等で光が遮られないことを確認してください。
- 幼児の手の触れるところに放置しないでください。
- 不意のバッテリー切れに備え、予備の電池を携帯することをおすすめします。
- ライト本体は無線式メーターから7 cm以上離して取付けてください。近すぎると送受信に影響を与える場合があります。
- 本製品は雨中での使用に耐えられる程度の防水能力です。水に浸けて使用しないでください。
- ライト本体や付属部品が泥等で汚れたときは、薄い中性洗剤を濡らせた柔らかい布で拭いた後、空拭きします。シンナー、ベンジン、アルコール等は表面を傷めますので使用しないでください。

初めてお使いになる前に

本製品は点灯確認ができる程度に充電されています。ご使用になる前に、使用方法「充電方法」に従って必ず充電を行ってください。

構成部品一覧



ライト本体
フレックスタイトブラケット (H-34N)
充電電池×4
バッテリーチャージャー (仕様により形状は異なります)

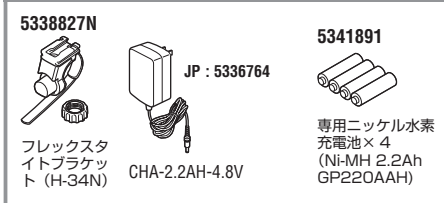
製品仕様

使用光源.....高輝度白色LED1灯
バッテリー.....単3形 Ni-MH 2.2Ah (GP220AAH) 充電電池4本、または単3形アルカリ電池4本
バッテリーチャージャー.....CHA-2.2AH-4.8V (付属充電池のみ使用可能)
連続点灯時間 (アルカリ電池)
.....ハイ: 約5時間 (約2時間)、
.....ロー: 約15時間 (約9時間)、
.....点滅: 約60時間 (約30時間)
標準充電時間.....約5~7時間
使用温度範囲.....充電時: 5℃~40℃ 点灯時: -10℃~40℃
繰り返し充放電回数.....標準300回 (定格容量の50%の容量低下まで)
本体寸法・重量.....114 x 56 x 53 mm / 227 g (付属充電池を含む)
※仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

製品保証について

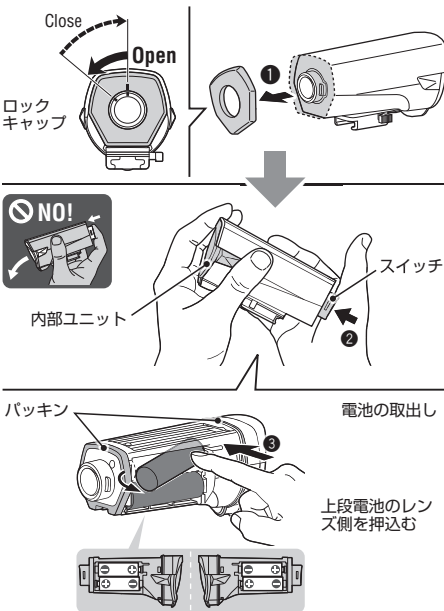
2年保証: ライト本体 / バッテリーチャージャー (ただしバッテリーの劣化は除く)
正常な使用状態で故障した場合は無料修理・交換いたします。返品にあたっては、お客様の連絡先・故障状況を明記の上、ご購入日が確認できる領収書のコピー等を添えて、当社宛に直接お送りください。ご購入日が特定できない場合、保証期間は製造年月日から起算させていただきます。事故などによる外的要因や取扱説明書に記載していない用途・方法での誤使用による要因では保証の対象外となります。なお、お送りいただく際の送料はお客様にてご負担願います。修理完了後、送料弊社負担でお届けさせていただきます。
【宛先】株式会社キャットアイ カスタマーサービス
〒546-0041 大阪府東住吉区染井2丁目8番25号
TEL: (06)6719-6863 タイムライン FAX: (06)6719-6033
ホームページ http://www.cateye.com Eメール support@cateye.co.jp

スペアパーツ



5338827N フレックスタイトブラケット (H-34N)
5341891 専用ニッケル水素充電電池×4 (Ni-MH 2.2Ah GP220AAH)

電池の入れ方



本製品は単3形アルカリ乾電池で使用することもできます。

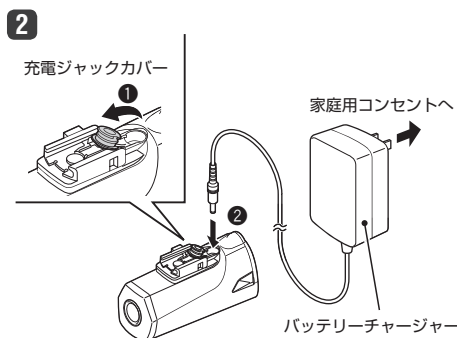
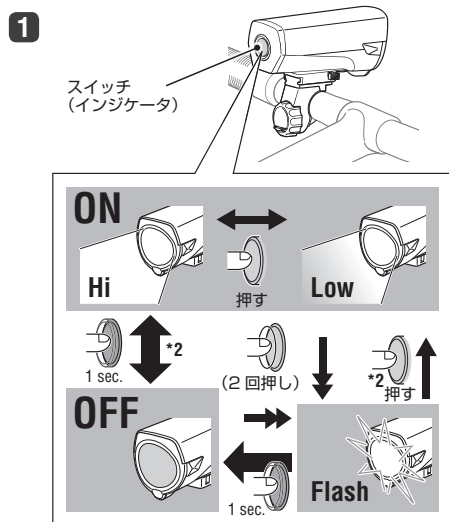
- 1 本体後部のロックキャップを反時計方向に回して取外します。
- 2 スイッチをゆっくり押込み、内部ユニットを前方から引抜きます。
- 3 電池は下段から装着します。取出しは、上段電池から図のように矢印部分を押し取外してください。
- 4 交換後は、内部ユニットの2つのパッキンがずれていないことを確認してボディに納め、ロックキャップで固定します。

危険 乾電池 (一次電池) を使用した場合は充電できません。

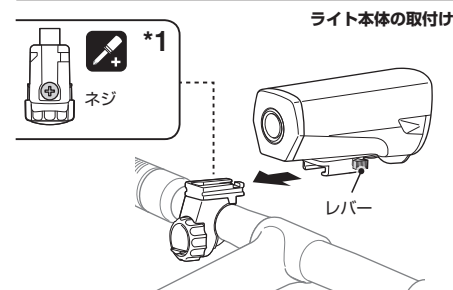
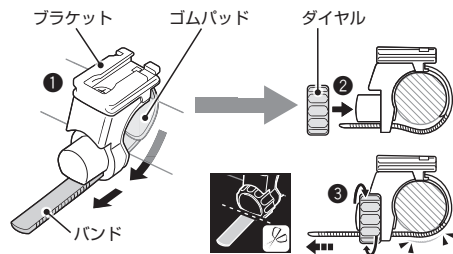
注意

- 内部ユニットを引抜く際は、必ずレンズに手を添えてください。内部ユニットが落下して損傷する恐れがあります。
- 乾電池 (一次電池) と充電電池は混ぜて使用しないでください。また、新旧電池を組み合わせ使用しないでください。
- 電池を挿入するときは+を間違えないでください。
- 防水性を保つため、2つのパッキンを正しく装着してください。
- 長期間使用しない場合は電池を取出してください。電池が液漏れを起こし故障の原因になります。

使用方法



取付方法



- 1 ブラケットのバンドをハンドルバーに巻付け、バンドを孔に通します。
- 2 ダイヤルをブラケットにねじ込み、仮止めします。
※ライトをブラケットにカチッと音がするまで差込み、照射角度を調節します (「ライト本体の取付け」参照)。
- 3 ダイヤルを強く締付け、余分なバンドを切落とします。
※ライト本体を取外すときはレバーを押しながら前方へ引抜いてください。

注意

- ダイヤルは必ず手で締付けてください。工具で強く締付けるとネジ山をつぶすおそれがあります。
- ブラケットのダイヤルやネジ (*1) は定期的を確認し、緩みがない状態でご使用ください。
- バンドの切口はケガをしないように処理してください。

1 スイッチ操作 (点灯モード切替)

スイッチでオン・オフと点灯モードを切替えます。

| スイッチ | 標準連続点灯時間 (アルカリ電池の場合) |
|---------------|----------------------|
| オン ↔ オフ: 長く押す | ハイ: 約5時間 (約2時間) |
| ハイ ↔ ロー: 一回押す | ロー: 約15時間 (約9時間) |
| 点滅: 素早く二回押す | 点滅: 約60時間 (約30時間) |
| 点滅: オフからも点滅 | |

*2 点滅から点灯 (ハイまたはロー) に戻るときは、直前まで使用していた点灯モードに戻ります。

電池残量について

スイッチ (インジケータ) が点灯すると電池残量がわずかです。できるだけ早く充電するか、新しい電池と交換してください。

2 充電方法

危険

- 乾電池を装着している場合は、絶対に充電しないでください。
- 必ず弊社純正充電電池とバッテリーチャージャーを使用してください。バッテリーチャージャーは室内専用です。
- 市販充電電池を使用する場合は、必ず指定の専用器で充電してください。

- 1 ライト裏面の充電ジャックカバーを開き、バッテリーチャージャーのプラグを接続します。
- 2 バッテリーチャージャーを家庭用コンセントに接続します。スイッチ (インジケータ) が点灯し充電が始まります。
※スイッチが点滅する場合は充電エラーです。一旦プラグを抜き、差し直してください。
- 3 スイッチが消灯すると充電完了です。プラグを外し、充電ジャックカバーを閉じます。

| スイッチ (インジケータ) 点灯状態 | 標準充電時間 |
|--------------------|--------|
| 点灯: 充電中 | 約5~7時間 |
| 消灯: 充電完了 | |
| 点滅: 充電エラー | |

※標準充電時間および点灯時間は目安であり、使用時の環境により変化する場合があります。